

安 全 情 報

No 1 / 2015

在留邦人のけん銃使用強盗事件被害

1月18日(日)午後2時過ぎ頃、チャカオ市カンポ・アレグレ地区において、在留邦人男性が、けん銃を所持した男数名から、車内に一時的に拘束され、金品を強奪される強盗事件が発生しました。

今年に入り、1月9日、リベルタドール市アルタ・フロリダ地区において、中国人の集合住宅がけん銃を使用した侵入強盗の被害に、また、チャカオ市ロス・パロス・グランデス地区において、ドイツ人男性がけん銃を使用した侵入強盗の被害に遭う等報道されただけでも多数の凶悪事件が発生しており、治安の悪化が懸念されております。

つきましては、下記の情報をご参照頂き、外出等の際は十分注意をお願いします。

記

1 概要

(1) 発生日時

平成27年1月18日(日)午後2時過ぎ

(2) 発生場所

カラカス首都区チャカオ市カンポ・アレグレ地区の被害者居住マンションの地下駐車場

(3) 状況

ア 18日午後2時過ぎ、外出先から帰宅した被害者が、自家用車で自宅マンション駐車場に入り、車から降りて、エレベータへ向かって歩いていたところ、綺麗な身なりをした25歳から30歳位の男3名(以下「犯人」)から、いきなりけん銃を突きつけられて、被害者の車の後部座席に乗せられました。

イ 犯人は、被害者を殴りつけ、覆面を被せて、両手を縛り、犯人のうちの数名が被害者から奪った鍵を使って、被害者宅へ侵入し、現金(米ドル、ボリバル)及びi-PAD等を奪いました。

ウ その後、午後4時30分頃、被害者の車に、別の被害者(ベネズエラ人男性)が乗せられました。ベネズエラ人被害者には、居室内に家族が居ましたが、犯人3名が居室内へ侵入し、同人の妻及び母親をけん銃で脅して、現金(米ドル、ユーロ)等を奪いました。

エ 犯人は、ベネズエラ人被害者に対する犯行後、車内で被害者2名を誘拐するかどうかを相談していましたが、幸いにも被害者2名を車内に放置して立ち去ったことから、数分後、被害者は、ベネズエラ人被害者とともに車から脱出しました。

オ ベネズエラ人被害者宅に侵入した犯人は3名であり、その際、車内にも犯人2名以上が

残っていたことから、少なくとも犯人は5名以上いたと思料されます。また、犯人がマンション駐車場への侵入に際し、警備員に対する脅迫行為や出入口の破壊行為は行っていないことから、駐車場の出入口を開閉するためのリモコン装置を入手し、侵入したと思料されます。

2 注意事項

この事件は、マンション駐車場内に隠れて、被害者を待ち伏せするという犯行手段であり、当地においては、何時、何処でも発生する可能性があります。また、一歩間違えれば、誘拐事件等のさらに凶悪な事件に発展していた可能性もあります。

深夜・早朝の時間帯の外出を避ける、外出先の治安状況を事前に確認してから外出する、ある程度の集団で行動する、尾行等を注意する等の事件の発生を未然に防止する対策をとることはもちろんですが、万が一被害に遭った場合には、被害を最小限に抑えることも大切です。具体的には、下記の点に注意してください。

- (1) たとえ敷地内であっても、マンションの駐車場等は人気がなく、誘拐や強盗事件の犯行現場になりやすいことから、十分に注意すること。
- (2) 強盗等に遭遇した場合のために、ある程度の現金を用意しておき、万が一の場合はそれを渡すようにする。犯人はけん銃を所持している場合や薬物を使用している場合が多いことから、落ち着いて、身の安全を第一に考え、絶対に抵抗しないこと。また、現金等が少ない場合、誘拐等に発展することを避けるため、ある程度の現金を自宅内等に保管しておき、万が一の際には、それを渡すこと。
- (3) 携帯電話を奪われた場合を想定し、緊急時の連絡先を数か所暗記しておくこと。